

ちむ美らさ

第116号

発行：北部農林水産振興センター
農業改良普及課

住所：沖縄県名護市大南1-13-11

電話：0980-52-2752

FAX：0980-51-1013



北部地区の農業振興及び農村の活性化を目指して

北部地域は、県農業算出額の31.7%を占める県下最大の農業振興地域であり、農業生産に加え、県土の保全、地域社会の活性化等を担っています。新規就農者・担い手の育成確保及び産地の育成強化への対応等、緊急かつ重要課題が多岐に渡っています。このような課題の多様化、高度化に伴い研究機関、市町村、農業団体等と連携して、課題と対象の重点化を図りつつ、直接農業者に接して、農業者の技術や経営能力の向上を図り、拠点産地の育成、これを担う優れた農業者の育成確保を目指して普及活動を展開していきます。

具体的には、下記の4つの活動方針を柱に、直接農業者に接して、技術・経営支援などを重点的に展開してまいります。



農業改良普及課
課長 上地 暢

1. 担い手の育成・確保と経営力の強化

新規就農者や認定農業者の技術・経営改善、農業青年クラブや農業士等組織活動の充実強化、女性農業者の経営参画促進などの取り組みを支援します。

2. おきなわブランドの産地育成と生産体制への支援

亜熱帯気候等の本県の優位性を活かし、高品質で安全・安心な農産物を消費者や市場に定時、定量、定品質で供給することにより、おきなわブランドの確立と産地形成を支援します。

3. 環境に配慮した持続可能な農業生産

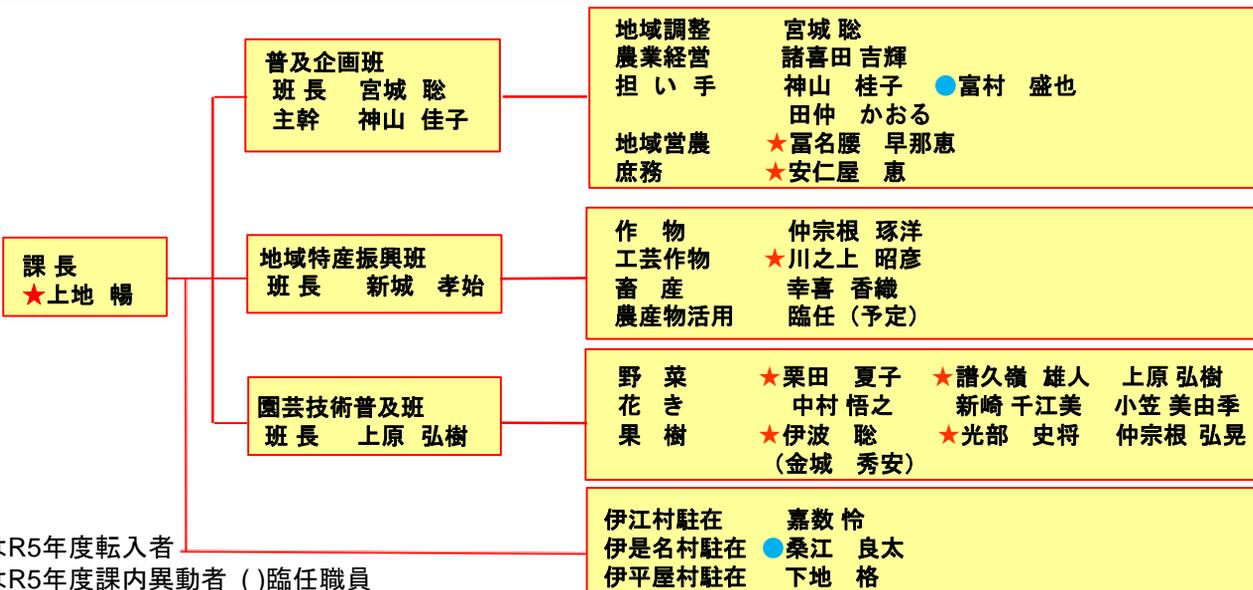
農業の持続的な生産活動のため、土壌分析に基づく適正施肥技術、減農薬・減化学肥料栽培等の環境負荷の低減技術推進を通して、エコファーマー、特別栽培農産物認証を推進します。

4. 魅力と活力ある農村の振興

地産地消の推進、女性起業家等の支援、地域特産物の活用、島ヤサイの産地育成、地域農業の活性化などの取り組みを支援します。

これら方針の推進にあたっては、生産農家をはじめ、市町村、JAなどの関係機関・団体と密接に連携し取り組む所存でありますので、関係者の皆さまには今後とも普及事業へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。
(北部・農業改良普及課長 上地暢)

令和5年度 北部農林水産振興センター 農業改良普及課体制



★はR5年度転入者

●はR5年度課内異動者 ()臨任職員

バックナンバーはこちら→
または右上QRコードでご覧になれます。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/norin-hoku-nokai/timutyurasa.html>

令和5年度「土壌検診週間」について

今年度も、北部地区土づくり運動推進協議会で、**生産者のみなさまの土づくりに役立てるため**、「土壌検診週間」にて土壌分析を実施する予定です。

サンプル提出締め切りは**6月上旬の予定**ですので、土壌分析を希望される方は、以下の様に土壌サンプルを採取し、申請書（農業改良普及課又は各市町村窓口にあります）を添付の上お申し込み下さい。**詳しい日程につきましては農業改良普及課および各市町村にお問い合わせください**。例年多数の申し込みがあります。**原則1圃場につき1土壌のお申込みでお願いいたします**（小面積で多品目栽培されている場合も合わせて1圃場とします）。営農されている圃場が対象です。

万が一想定を超える点数に達した場合には、点数を制限する場合がありますのでご了承ください。

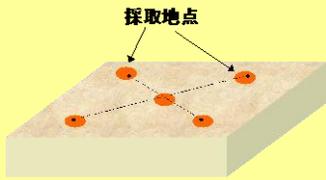
1. 土壌を採取する場所について

・畑土壌(施設含む)、水田土壌の場合

・果樹園土壌の場合

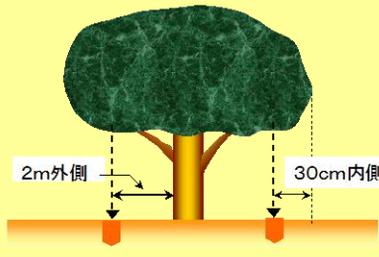
・生育不良の区画がある場合

対角線上に圃場5カ所から採取します

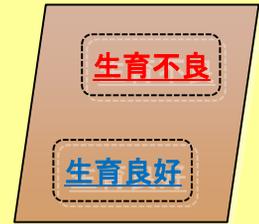


枝の先端から30cm内側の土壌を採取します。或いは樹幹から2m外側の土壌を採取します。

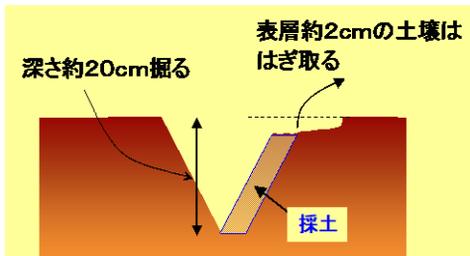
※代表的な樹5本程度から採取。



局所的に生育不良のみられる圃場は、生育のいい区画と悪い区画を分けて土壌を採取。（詳しい採取方法については農業改良普及課までお問い合わせ下さい。）



2. 土壌採取の仕方



表層を1～2cm（果樹は5cm）、はぎ取ってから、深さ約20cmV字型に掘ります。それから穴の斜面に沿って、一定の厚さを掘り取ります。

3. 土壌の乾燥



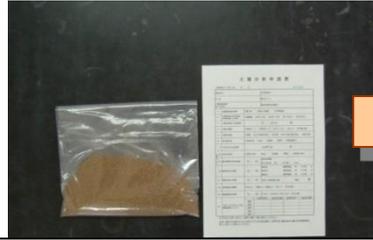
土を乾燥させる際は、採取土壌を細かくほぐし、新聞紙の上に土を広げます。雨に濡れない風通しの良いところで約1週間乾燥を行います。

4. 土壌の粉碎



小石や根などを取り除いた後、ビンなどで転がし、土壌を細かくしていきます。土壌粒子が約2mm以下になるまで粉碎しましょう！（ネットなどでふるう）

5. 土壌の提出



2mm以下に粉碎したら、土壌約300g（お茶碗1杯程度）をポリニールに入れ、申請書を添付して提出してください。また袋にも名前、畑名を記入してください。ポリニールの中に申請書と土壌を一緒に入れないよう注意してください！

提出

次のような圃場では特に土壌分析をうけることをおすすめします

- ・新しく利用する圃場
- ・数年土壌分析を受けていない
- ・たい肥を毎年投入している
- ・主に有機質肥料を利用
- ・エコファーマーを取得したい
- ・収量や生育が落ちてきている、急に生育が変わった。

～注意～

- ・正確な分析のため土壌に堆肥、化成肥料、作物残渣が混ざらないようにしてください。
- ・湿った土壌、粉碎されていない土壌は分析できません。（受付できません。）

（担当：栗田）

5、6月は果実品質の向上に努めましょう！

・5～8月は気温が高く、マンゴーの日焼け果のリスクが高まります。果実の日焼け防止、病害虫からの保護を目的に袋がけを行いましょう。

下記データの通り、袋がけは日焼け防止に有効です。



マンゴーの日焼け果



日焼け果は気温が上がる午後、梅雨明けの極端な高温(30℃以上)、高湿度・無風などの条件で発生しやすくなります。対策として、袋がけ、遮光ネットの設置、ハウス内の換気、こまめなかん水を実施しましょう。

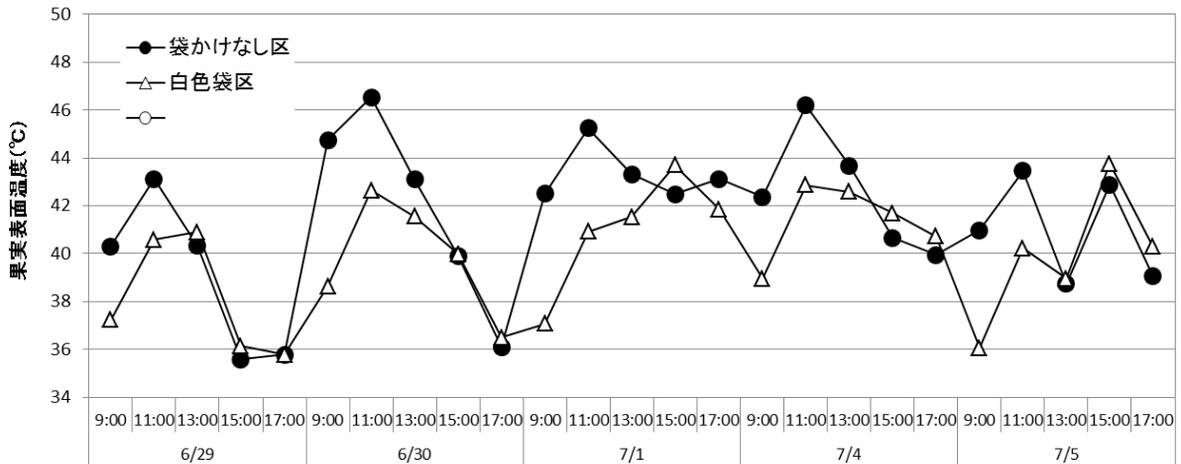


表1. 各処理区における日焼けの発生率および果梗部の発生箇所

処理区	日焼け発生率(%)	発生箇所(方位) ¹⁾			
		北	南	東	西
袋かけなし区(n=4)	75	0	0	3	0
白色袋区(n=4)	25	0	0	0	1

1)発生箇所は果実によって複数箇所あり

袋がけにより、果実表面温度の上昇を抑え、日焼け果の発生を防止することが期待できる